

枚方市と枚方市職員労働組合の団体交渉の要旨

1. 日 時 令和4年6月14日（火） 午後7時30分～午後8時30分
2. 場 所 枚方市職員会館 大会議室
3. 出席者 組合側：執行委員長以下約30名
市 側：総務部長、総務部次長、人事課長、職員課長、
教育政策課長、上下水道総務室総務課長、市立ひらかた病院総務課長、
書記（人事課・職員課 課長代理）
4. 課 題 「予算・人員要求書」に基づく交渉（1回目）

<交渉内容要旨>

I. 必要な人員の確保について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 組合員のアンケートでは「人員不足である」が約8割、「毎日非常に疲れる」が約4割という結果となった。 コロナ禍への対応で業務量が増加している中で、人員体制が業務量と見合っていないことは明らかであるが、当局はどのように認識しているのか。 ・ 令和4年度末に定年退職及び再任用更新限度を迎える職員の人数を教えてください。また、定年退職者のうち、再任用職員にならず、辞め切る職員の割合はどの程度なのか。 また、職員定数方針の人数にこだわらず、人員不足に対応できる職員数を採用すべきであるが、どのように考えているのか。 ・ 学校給食調理員は、人員が不足しており、時間外勤務により、何とか給食が用意できている状況である。 また、会計年度任用職員については、募集しても応募者数が少ない。 職員が安心して働き続けることができる人員・職場体制をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場ごとに状況は異なるが、会計年度任用職員の配置など、多様な任用形態も含めて対応しており、引き続き適正配置に努めていく。 ・ 定年退職者は53名で、そのうち3～4人程度が辞め切りの見込みであり、また、再任用更新限度を迎える職員は31人である。 職員の採用者数については、職員定数方針を踏まえつつ、職場実態や社会情勢も勘案し、決定していく。 ・ 調理職場の現状については認識しており、適正配置に向けて、引き続き検討していく。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 介助員、保育士、看護師、放課後支援員等についても不足しており、現場の努力で対応するのは限界である。 また、コロナ禍の対応や事務作業等の仕事は増加する一方である。 人員が足りない職場に、きちんと配置するのは当局の責任だと考えるが、どのように認識しているのか。 ・ 図書館司書について、昨年度は資格枠として、社会福祉士と同じ枠での募集となった。全く違う資格同士をまとめて募集すると、受験者はその職種が採用されるか不安を感じ、結果として受験を控えることにつながる懸念がある。 今年度の採用の枠組みについて、どのように考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各職場の実態を精査し、適正配置に向けて、引き続き検討していく。 ・ 優秀な人材確保のための効果的な採用方法について、募集の枠組み等を含め、検討しているところである。
--	---